



芝山小だより

4月号

清瀬市立芝山小学校

校長 清水 一臣

<http://www.kiyose.ed.jp/>

笑顔と活気あふれる学校をめざして —新年度のスタートと本年度の学校経営について—

校長 清水 一臣

満開に咲き誇った桜も散り始め、春の深まりとともに木々の緑に心躍る季節を迎える今日、ピカピカの1年生が入学してきました。どの子も緊張の面持ちで、精一杯胸を張って、61名が立派に入学式を迎えました。

手塩にかけて育ててこられたお子様のご入学、誠におめでとうございます。これから6年間、教職員一同心をこめて全力でお預かりします。保護者の皆様には、学校へのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

入学式に先立って行われた始業式では、どの学年の子供たちも大変立派な態度で式に臨むことができました。学年によっては、新しい学級、新しい担任の先生に胸をわくわくさせたことでしょう。

いよいよ新年度のスタートです。

平成30年度は、新1年生を含め全校児童308名、12学級のスタートとなりました。

私は、今年度本市の清明小学校から異動してまいりました校長の清水一臣と申します。前任の佐藤 強校長が築かれた芝山小の良き伝統を受け継ぎ、保護者・地域の皆様との連携を密に図りながら、さらにより良い学校にすべく全力を尽くしてまいります。どうぞ今後とも学校へのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年度は退職・異動等もあり、講師も含め、総勢34名の教職員で学校を運営してまいります。

目指す児童像を

○よく考え、それをやりぬく子 ○より明るく、みんなと仲良くできる子 ○そして強く、心身ともに健康な子

と設定し、

公教育に携わる教職員としての職責を自覚し、一人一人が元気に輝き、確かな学力と豊かな心をもった自立する児童の育成を図るとともに、健康で安全な教育環境を整え、保護者・地域から信頼される学校づくりを目指す。

を学校経営の基本理念とし、

- (1) 子供の安全・安心を保障し、どの子にも居場所がある楽しい学校＝**安心**
- (2) 保護者が安心して我が子を預けられ、保護者・地域とコミュニケーションを大切にできる学校＝**信頼**
- (3) 子供と共に学び、常にプラス思考で、教職員の専門性が発揮できる学校＝**充実**

を目指して、教職員一同力を合わせ、笑顔と活気あふれる学校をつくってまいります。どうぞ、保護者・地域の皆様におかれましては、引き続き学校へのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

次に本年度の特徴的な取り組みをご紹介します。

第1は学力に関する取り組みです。昨年度に続き本年度も本校では、清瀬市の教育委員会から研究指定校の指定を受け、「自分で考え、表現し、学び合う児童の育成～算数科における学び方を大切にしながら～」を研究主題として研究を進めてまいります。これからの時代は、日進月歩のごとく技術が進歩し、インターネットの普及とともに世界との距離がますます縮まり、情報の量も飛躍的に増大することから、情報の質を見極め、物事の価値を判断しながら自らの生きる道を切り開いていくことが重要となります。したがって、将来の社会を担って行く子供たちには、教師から教えられた知識や技能を一方的に蓄積するだけではなく、自分で問題を見つけてその解決に向けて考えたり、どの解決方法がふさわしいかを判断したり、解決の道筋や方法を友達に伝えたり、友達と意見を交換したりすることによって、人生の中で起こる様々な問題を解決していく力を身に付けることが必要であると言われております。本校ではこのような課題意識の下、年間数回の研究授業や研究会を重ねながら算数科の授業改善に取り組み、その成果を来年度の2月1日(金)に発表することといたしました。

今後も様々な取組について、この「芝山小だより」で紹介してまいります。本年度も本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。